

# 市街地の中にみる福祉の住環境への基礎的研究（その3）

——公園の実態——

坂本久子

## Fundamental Study toward an Accessible City for Every Person (Part 3)

— The Actual Condition of Parks —

Hisako Sakamoto

In this report, the actual condition of parks is discussed through investigation of Katumori Park, Yosio Park, Nakata Park, Komoda-nishi Park, Tokuzen Park, Katamine Park and the Iizuka Green Belt Road.

These parks have one or more entrances where a person in a wheelchair can enter. The largest park is Katumori Park, which has beautiful landscape with a pond and hills. If there were some solutions to differences in level and pavement on walkways, people in wheelchairs would be able to go around the pond. The other parks, except the Iizuka Green Belt Road, are small parks which are composed of an area of play equipment for children and an open space which would be utilized for a civil emergency.

The Iizuka Green Belt Road is divided by the national road Route 211 and the other roads. Green Belt Road is a dangerous situation because of the passing heavy traffic. There is one multipurpose toilet and one western style toilet with handrails on the Green Belt Road which a person in a wheelchair can use.

Key words : normalization, living environment, parks, actual conditions

### 1. 研究目的

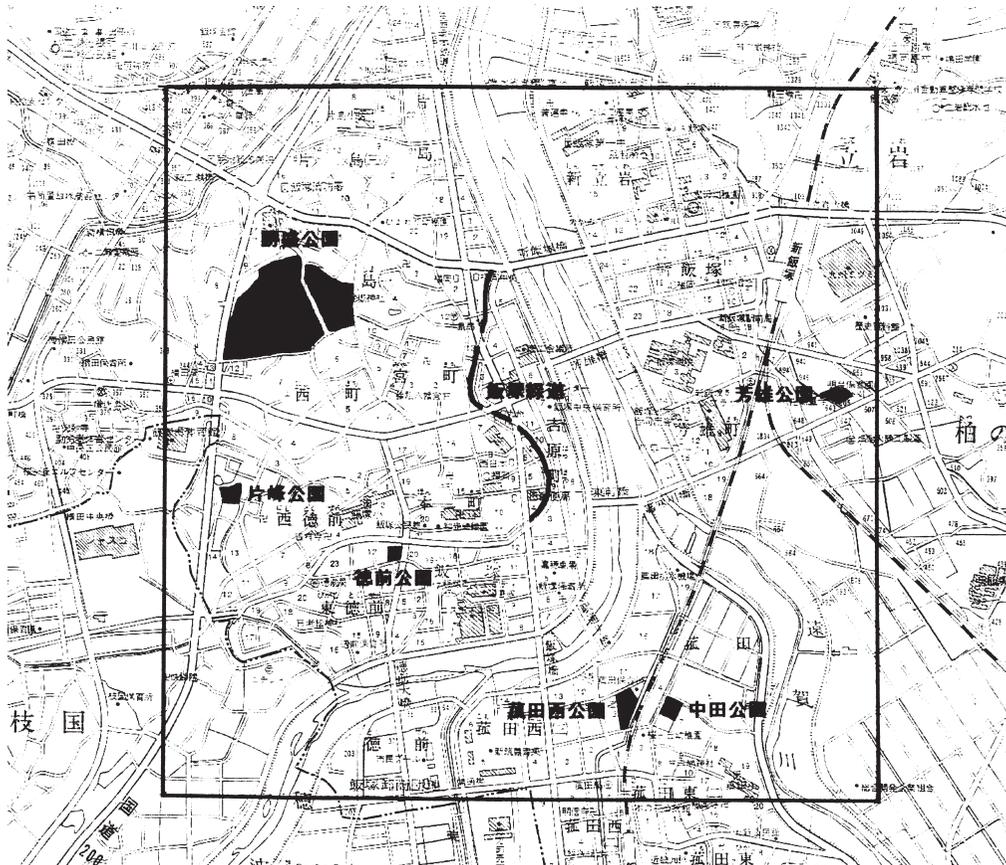
前2報<sup>1) 2)</sup>に引き続き、全国平均からみて高齢化が進んでいる<sup>3)</sup> 飯塚市内の市街地を取り上げ、その実態を把握することにより、これからのまちづくりを進めてゆく上でのあり方を探るものである。

## 2. 研究方法

福岡県飯塚市の市街地の中で、中心的町並を形成している2km<sup>2</sup>の地域を調査対象地として、その中にある公園を実態調査した。調査対象地には図1に示すように、勝盛公園、芳雄公園、中田公園、菰田西公園、徳前公園、片峰公園、飯塚緑道がある。

調査年月日は平成14年5月。補足調査を平成17年10月に行った。

図1 調査対象地の公園



## 3. 研究結果および考察

### 3-1 調査対象公園の概要

調査対象の公園は表1に示すように、勝盛公園は地区公園であり、芳雄公園、中田公園、菰田西公園、徳前公園、片峰公園は街区公園として位置づけられている。そして飯塚緑道は都市公園の一つとして緑道とされている。それぞれの公園の面積は表1の通りである。

表 1 調査対象の公園の概要

種 別	名 称	計画面積 (ha)	開設面積 (ha)	事業年度
地区公園	勝盛公園	6.6	6.6	
街区公園	中田公園	0.3	0.3	昭和 58 年
街区公園	菰田西公園	0.4	0.4	昭和 41 年
街区公園	徳前公園	0.2	0.2	昭和 48 年
街区公園	片峰公園	0.3	0.3	昭和 43 年
街区公園	芳雄公園	0.3	0.3	昭和 46 年
緑道 (緑地)	飯塚緑道	0.8	0.8	昭和 51 年 (計画決定年)

資料：飯塚市役所都市計画課「平成 14 年度飯塚市役所都市計画の概要」より作成  
 注 1) 勝盛公園については、当初計画決定年月日は昭和 37 年 10 月 12 日、最終計画決定年月日は昭和 44 年 5 月 20 日と記載されているが、事業年度は記載されていないので空欄としている。

注 2) 飯塚緑道は事業年度ではなく、計画決定年度である。

### 3-2 地区公園

調査対象地にある地区公園の勝盛公園は、飯塚市立岩にあるもう一つの地区公園の旌忠公園(5.5 ha) より面積が広く、西鉄のバスセンターから徒歩 10 分位のところに位置している。桜の名所としても知られており、市民に親しまれている。

#### 3-2-1 勝盛公園の歴史と公園の構成

この公園の歴史は古く、公園内の案内板「勝盛公園の沿革」には次のように説明されている。「大正 10 年 4 月飯塚町時代に二瀬村片島区との協定のもとに区有地 4,896 坪を共同管理の上、勝盛公園として発足した。

また現在勝盛公園の一部となっている、小動物の居る櫛山公園は昭和 10 年 1 月、麻生太賀吉氏から敷地を公園設置の条件で寄付を受け、直ちに地元民の奉仕活動により遊歩道の整備を行い小公園として発足した。

昭和 20 年頃の戦中戦後の食料難の折には全域の雑木を伐採し畑とし、食料確保の一担に供された。

昭和 24 年以降、失業対策事業で再整備し、昭和 26 年 4 月都市計画公園(櫛山公園)に決定し、都市公園としての整備をした。

昭和 25 年 6 月北海道夕張市から小熊二頭の寄贈があり、以来各種の動物を飼育するようになった。また飛行塔、豆汽車等の遊具を設置し、昭和 32 年には櫛山公園をかつもり遊園地と名称の変更をした。

更に昭和 37 年には勝盛公園と、かつもり遊園を統合して勝盛公園と改称した。

平成 2 年には、池を一部埋立、回遊できるように水辺の整備をした。」

現在動物は鳥類が数種類飼われ、遊具も飛行塔や豆汽車は設置されてなく、ブランコ、木製ジャングルジム等があるだけだが、遊具が設置された場所は子供たちの遊び場となっている。

これらの説明でも分かるように、勝盛公園は、勝盛ため池の周りの区域と櫛山(ここには 6

世紀頃のものとして推定される櫛山古墳がある)を擁した区域とから成り、さらに道路を隔てた東側の宮地獄神社の区域を含めて成り立っている(図2参照)。従って、この公園は図3、図4、図5、図6に示すように高低差のある風光明媚な景観を生み出している。

「この古墳は大正10年8月この地で行われていた造成工事で偶然発見された。

金銅製馬具など多数の副葬品が発見されたが特に金銅製帯金具が有名である。荒目の布製の帯に金銅透彫の金具を鋏留した美しい飾り帯である。類品はむしろ朝鮮半島南部の新羅時代の古墳の出土品にみられ、半島で作られたものがこの地に伝わったと考えたい。

この古墳の主人公は朝鮮半島の国々と特別な関係を持っていた人にちがいないが、その頃のこの地方の豪族たちにはこのような例が決して少なくなかったのではないと思われる。

古代飯塚地方の歴史や文化に日韓の交渉が深かったことを教える注目すべき古墳である。築造年代は6世紀の頃であろう。 飯塚市教育委員会」

図2 勝盛公園の配置図

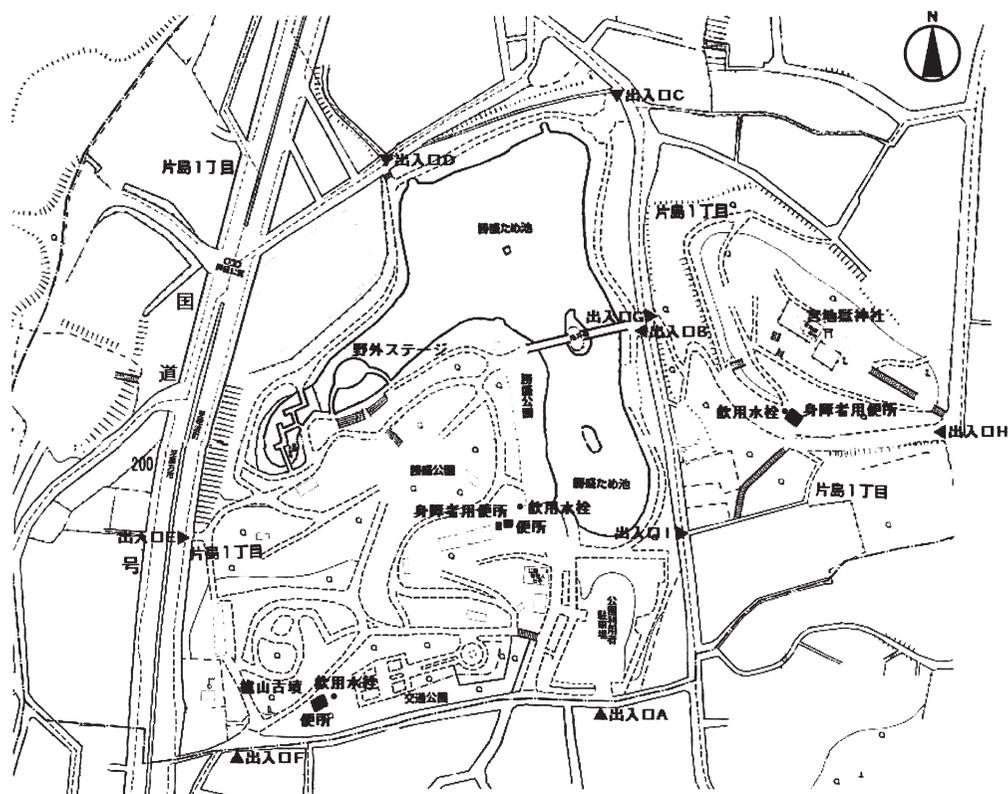




図3 駐車場方向より勝盛ため池を望む



図4 勝盛ため池より宮地獄神社の方向を望む



図5 勝盛ため池より櫛山の方向を望む

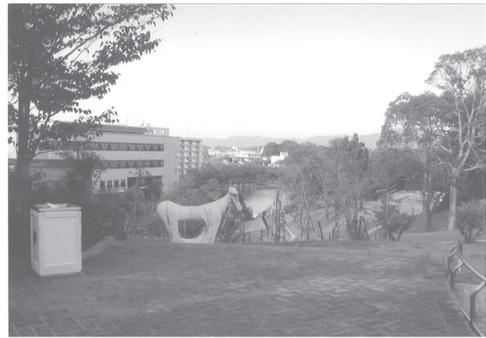


図6 櫛山より勝盛ため池を見下ろす

### 3-2-2 出入口

この公園の出入口は9ヶ所ある。図2に示すように勝盛ため池と櫛山の周囲に6ヶ所、宮地獄神社の周囲に3ヶ所である。

これらの出入口を勝盛ため池と櫛山の周囲からみると、駐車場へ出入する「出入口A」は、図7に示すように十分な広さのある出入口である。駐車場には特に身障者用駐車場は設置されていないが、池を回遊する歩道に対する段差解消もなされている（図8）。次にこの北にある「出



図7 勝盛公園・出入口A



図8 駐車場から歩道への段差解消

入口B」には、図9に示すように車止めで出入を制限しているが、これらの車止めの間隔は132～144 cmの間であり、これは「福岡県福祉のまちづくり条例」の基準90 cm<sup>4)</sup>を満たしている。そして、更に北にある「出入口C」にも図10に示すように同じ車止めが設置されている。これらもその間隔が112 cm～117 cmであり、これも基準を満たし車椅子は出入出来る。北側の「出入口D」は階段であり、その幅は400 cmである(図11)。そして国道200号から勝盛公園へと開かれた「出入口E」は図12に示すように、西側からこの公園に入る開放的な場所となっている。この出入口に設けられた車止めの間隔は117～123 cmであり、福岡県の条例の基準を越えている。この出入口は、平成14年の調査時にはうっそうと灌木が生茂り、出入口からの園路の傾斜が急で道路も舗装されておらず、車いすでの出入りは困難であった。平成15年の改修で<sup>5)</sup>このように整備された。「出入口F」は図13のように2ヶ所の出入口があるが、広い方は通行止めとなっており、狭い方からのみの出入となっている。この出入口幅は広い方で298 cmであり、狭い方116 cmである。

道路を隔てて東側にある宮地獄神社を取巻く区域の出入口をみると、「出入口B」と向き合う形で設置されているのが、「出入口G」である。図14に示すように車止めがあり、この間隔は120 cmであり十分な間隔が開けられている。しかし、この出入口から宮地獄神社に向かって登る園路の勾配が急であり、自走用車いすは上ることが出来ない。介護者が押す介護



図9 勝盛公園・出入口B



図10 勝盛公園・出入口C



図11 勝盛公園・出入口D



図12 勝盛公園・出入口E



図 13 勝盛公園・出入口F



図 14 勝盛公園・出入口G

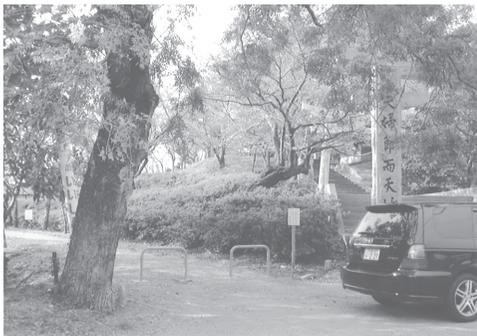


図 15 勝盛公園・出入口H



図 16 勝盛公園・出入口I



図 17 勝盛公園・出入口Iの階段

用車いすでも全身の力を込めてかなりの力が必要である。そして、宮地獄神社の正面入口の左手に「出入口H」がある。ここは図15のように平坦な園路となっているが、舗装されていない。車止めの間隔は中央部で100cmである。最後に「出入口G」の南に「出入口I」がある。この出入口は図16のように建物と建物間の路地を通って行くと図17のように階段にでる。この階段までの道は砂利道であり、階段には手すりがない。

### 3-2-3 池の周囲の回遊

勝盛公園の歴史でみたように、この公園では池を中心として回遊できるように水辺の整備が行われている。この池の周囲の園路は遊歩道となり、東側と北側は平坦で歩きやすく、時には池の中の水鳥と交流出来て心むむひと時を過ごせる(図18、図19)。

この池の周囲の回遊を車いす使用で検証してみると、池の北側「出入口D」の近くに、池の排水のための溝を跨ぐように小さなコンクリート製の太鼓橋がある。この橋の膨らみが大き

いため、橋を渡ったところで車いすのフットレストが道路に当り、身動きが取れなくなる（図20）。自走することは出来ず、車いすを抱えて持上げる必要があった。

次に、池の西端では、図21に示すように榎山に向かって急勾配になっている。この園路を上ることは、自走では出来ないし介護者はかなりの労力を要する。池の西端には図21の手前に見えるように木製の橋が架けられている。この橋の北側出入口は楽に出入り出来るのだが、南側出入口の一ヶ所は図22のように石段があり、もう一ヶ所は図23のように橋と園路の間に段差がある。ここからもスムーズに出られない。また、出入口付近は舗装してあっても、2mも行くとそこからは砂利道が続いており車いすの走行ができなくなる（図24）。ここに摺り付け板をつけて段差を解消し、砂利道も舗装されると、車いすの走行が可能となる。

現況では、車いすでの池の回遊は困難がある。しかし、太鼓橋の改修と木製の橋の段差解消、そして砂利道の舗装によって十分可能性があると考えられる。

また、公園内には視覚障害者への配慮はほとんどなされていないと言ってよい。

### 3-2-4 便所、飲用水栓、野外テーブル、園路

勝盛公園には、便所は3ヶ所に設置されている。そしてその便所近くに飲用水栓も設けられている。図2に示すように「出入口F」近く榎山古墳3m程東に行った所に1ヶ所、勝盛ため池の南で駐車場近くに1ヶ所、宮地獄神社近くに1ヶ所である。

榎山古墳近くの便所（図25）は、男性用と女性用それぞれ2つの便房があるが、便房には



図18 池の周囲の遊歩道



図19 遊歩道に設けられた休憩場所



図20 北側にある太鼓橋



図21 池西端の園路と木製橋



図 22 木製橋南出入口（石段）



図 23 木製橋東出入口



図 24 木製橋近くの砂利道



図 25 樋山古墳近くの便所

いる扉は 57 cm と狭く、健常者用を目的として作られたと考えられる。そしてその外にある飲用水栓は、図 26 のように車いすでは近づけないデザインであり、また視覚障害者にとっても複雑な形態である。

勝盛ため池の南には、身障者用便所と一般用便所が並んで設置されている（図 27）。そしてその近くには、先の図 26 と同じデザインの飲用水栓が設けられている（図 28）。

宮地獄神社の近くには、図 29 に示すように和風の外観をもつ便所が設置されている。この建物の中の男性用には身障者用便房と小便器が、女性用には身障者用便房と一般用便房とが設けられている。建物の外には図 30 に示す飲用水栓が設置されており、車いすから十分使用できる形態を備えている。しかし、この便所が設置されている位置だが、勝盛ため池側からこの便所に行くには、「出入口 G」でみた急勾配の傾斜の園路を上ってこなければならぬ。介護者がついていてもかなりの労力を必要とする。「出入口 H」からであれば、平坦な園路でアプローチできるが、便所のみで使用で勝盛公園の景観を楽しむことは出来ない。

野外テーブルは公園内の 3ヶ所に置かれている。いずれも屋根のついた東屋風の中にある。この内 2ヶ所は交通公園（図 31）の中とその東側にある。これらはいずれも平成 15 年の改修前からあった野外テーブルである。

樋山古墳近くにある交通公園の中には、図 32 に示すように、2脚の野外テーブルがある。



図 26 櫛山古墳近くの飲用水栓



図 27 勝盛ため池の便所



図 28 勝盛ため池南の飲用水栓



図 29 宮地獄神社近くの便所



図 30 宮地獄神社近くの飲用水栓



図 31 交通公園

このテーブルの上にはパーゴラ風の屋根が架けられている。テーブルの下部の空きは 55 cm、奥行きは 21 cm であり、これは「福岡県福祉のまちづくり条例」の野外テーブルに関する「望ましい基準」に示された 65 cm 以上、45 cm 以上の空きを車いす使用者等に配慮するという基準<sup>6)</sup>を満たしていない。そしてこの野外テーブルの下には基壇があって周囲との段差が 5 cm ある。この段差も車いす使用者にとっては障害となろう。

交通公園東側には図 33 に示す円形野外テーブルが設置されている。このテーブルの下部の空きは 44 cm、奥行きは 40 cm であり、これも「望ましい基準」<sup>6)</sup> を満たしていない。そしてテーブルの前には円弧形の椅子が固定して設けられており、椅子と椅子の間は 57 cm 程度しか開いていず、これも車いすが近付く障害となっている。

これらの野外テーブルのある交通公園へ行くには急勾配の斜路を上り下りするか榎山古墳側からの階段を利用するかの方法しかない。野外テーブル単体で設備品を検討するだけでなく、その場所へ行く順路も検討しなければならないであろう。

もう 1 つの野外テーブルは勝盛ため池に架かる朱塗りの指月橋を西に出た場所に設置されている。図 34 に示すように東屋の中にある。このテーブルと椅子は交通公園の中にあったものと同形の設備品である。テーブルの下部の空きは 55.5 cm、奥行きは 22 cm であり大差はない。平成 14 年に調査した時は、このテーブルと椅子の基壇は狭く周囲とに段差があったが、平成 15 年に改修されたのであろう、今日では基壇は広くなり周囲との段差も解消していた。

公園内を散策するための園路については、平成 15 年の改修工事で榎山の区域が随分新しく明るくなった。平成 14 年の調査では地肌がむき出しになった部分が多く、中には雨列が走ったようなところもあったが、現在は大部分が舗装され歩きやすくなっている（図 35、図 36）。まだ砂利道として残され未整備部分（図 37）もあるようだが、今後が期待される。

榎山区域と宮地獄神社の区域は小高い丘を形成しているため、勝盛ため池からのつながりを考えると園路が斜路とならざるをえない。それだけに起伏に富んだ勝盛公園の風光明媚な風景が楽しめるのだが、車いす使用者、ベビーカーを押す人、病弱な人々にとってはかなりの負担になり、通行出来ない園路も出てくる。傾斜の緩い園路を繋いで道順を作り、急勾配の園路には、幅 120 cm 程の最小有効幅員で新たな園路を設置し、傾斜の緩い園路と結びつつ回遊出来るようにするなどよりよい園路の設置が望まれる。少なくとも勝盛ため池の周囲はあらゆる人々が散策し、回遊できる園路の整備が期待される。

また、公園内の視覚障害者への配慮も望まれる。



図 32 交通公園内の野外テーブル



図 33 交通公園東側の野外テーブル



図 34 勝盛ため池の指月橋近くの野外テーブル



図 35 舗装された園路



図 36 舗装された園路



図 37 未舗装の園路

### 3-3 街区公園

先の「調査対象公園の概要」の項でみたように、街区公園として、芳雄公園、中田公園、菰田西公園、徳前公園、片峰公園が調査対象地の中にある。

#### 3-3-1 調査対象地の街区公園の概要

調査対象の5つの街区公園の広さは、表1に示したように0.2～0.4 haであり、0.3 haの公園が3ヶ所ある。そして設備の状況をみたものが表2である。これらの公園は、運動が出来る広場と子どもが遊べる遊具を置いた場所とで構成されている。出入口は2ヶ所または3ヶ所あり、1ヶ所以上に十分な幅の出入口が設置されている。

公園完成年月日<sup>7)</sup>が昭和52年2月23日と昭和59年3月30日であり、この5つの公園はほぼ同じ時期に造成されたといつてよい。便所の形態はどの公園も同じであることを考えるとこのことを理解出来る。次に各公園の実態についてみてみる。

#### 3-3-2 芳雄公園

この公園は図1にみるように調査対象地の東に位置している。出入口は西側と北側の2ヶ所にある。西側の出入口は図38に示すように、鉄パイプ製の車止めが設置されている。車止めと車止めとの間は52 cm～65 cmと狭く、人一人がようやく通れる幅である。北側の出入口は図39に示すように、開いている部分の幅は210 cmと十分な広さがある。しかし、図を見て分かるように道路と公園入口との間に段差が3 cmあり、わずかな段差ではあるがすりつけ板

表2 街区公園の設備設置状況

名称	設備の状況	出入り口	公園完成年月日	備考
芳雄公園	砂場 穴のあいたコンクリート遊具とすべり台 ぶらんこ 鉄棒 水飲み場 藤棚付き休憩所 バスケットボールができる広場	2ヶ所（1ヶ所は十分出入りできる幅があるが、段差3cmあり）	昭和52年2月23日	バスケットボードは古くなり使われていない様子。水飲み場の水がでない。便所は和式、ドア幅は60cm
中田公園	砂場 すべり台 ぶらんこ 鉄棒 屋根付き休憩所 便所（汲取り式）運動ができる広場	3ヶ所（1ヶ所のみ段差がなく出入りに十分な幅がある）	昭和59年3月30日	鉄棒は新しくなっている。便所は和式、ドア幅60cm
菰田西公園	砂場 シーソー ジャングリズム付すべり台 ぶらんこ 動物の遊具 藤棚付き休憩所 ベンチ 便所（汲取り式）運動ができる広場	3ヶ所（1ヶ所のみ段差がなく出入りに十分な幅があり。もう1ヶ所にはすりつけ板）	昭和52年2月23日	便所は和式、ドア幅は60cm
徳前公園	砂場 すべり台 ぶらんこ ベンチ 水のみ 場 便所（水洗式）運動ができる広場	3ヶ所（1ヶ所はスロースリ付出入口、もう1ヶ所は手すり付出入口）	昭和52年2月23日 平成16年改修	改修によりゲートボール場は撤去されている。水飲み場の水が出ない。便所は和式、ドア幅は60cm
片峰公園	砂場 すべり台 ぶらさがり遊具 鉄棒 ぶらんこ ベンチ 水飲み場 便所（汲取り式） 運動ができる広場	3ヶ所（1ヶ所のみ十分な幅の出入口あり。しかしのアプローチは急傾斜）	昭和52年2月23日	便所は和式、ドア幅は60cm

平成17年10月現在

の設置が望まれる。

公園内は東側に遊具が設置され（図40）、そこから西側に広場がひろがる。バスケットボードが備えられているが（図41）、ネットはなくほとんど使われていないようである。遊具の近くにある砂場も砂は硬くなっており、使われていないようである。

便所は図42に示す。汲取り式で内部は和式の大便器の便房と男性用小便器で構成されている。手前に水のみ場があるが水は出ない。しかし、便所の手洗いは水がでる。



図 38 芳雄公園の西側出入口



図 39 芳雄公園の北側出入口



図 40 芳雄公園の遊具



図 41 芳雄公園の広場とバスケットボード



図 42 芳雄公園のの便所

### 3-3-3 中田公園

中田公園は調査対象地の南東に位置している。出入口は3ヶ所で、北側に2ヶ所（それぞれ北東の出入口、北西の出入口と呼称する）、そして、西側南寄り（西南の出入口と呼称する）に1ヶ所ある。

北東の出入口は、図43に示すように車止めがあり、この間隔の有効幅は狭いところで62cm、広いところで75cmである。日本工業規格（JIS）による手動車いすの寸法は幅70cm<sup>8)</sup>なので通れないことはないが、少々厳しい幅員である。北西の出入口は車止めが1つであり（図44）、通行幅はそれぞれ183cmと



図 43 中田公園の北東出入口



図 44 中田公園の北西出入口

187 cm である。ここは十分な通行幅はあるが、手前に見えている歩道との段差が 9 cm あり、これは障害となる。西南の出入口は図 45 のように、車止めは 2 つ設置されており、それぞれの間隔は 103 cm、130 cm、110 cm で、この場所は「福岡県福祉のまちづくり条例」の基準 90 cm<sup>4)</sup> を満たしている。

公園内は、北側に遊具や便所が設置され（図 46、図 47、図 48）、南側に運動のできる広場が設けられ（図 49）、公園の構成がなされている。



図 45 中田公園の西南出入口



図 46 中田公園の遊具



図 47 中田公園の鉄棒



図 48 中田公園の便所



図 49 中田公園の広場

からの車いすの出入は困難である。東側の出入口は図 51 のように段差もなく、車止めで出来た間隔は 120 cm、110 cm、117 cm であり十分な幅員がある。北側の出入口は図 52 のように段差が 9 cm あるが、すりつけ板を設けており、出入をスムーズにしている。手前のコンクリートの突起物によって分けられた間隔は、114 cm、102 cm、114 cm であり、十分な広さである。

この公園の遊具のある場所（図 53）と運動ができる広場（図 54）とは、金網の柵によって区切られており、通行は出来るがそれぞれまとまった空間として感じられる。

便所は図 55 に示すように、芳雄公園、中田公園と同じ外観と設備を持つ。

### 3-3-4 菰田西公園

この公園は中田公園の近くであり、JR 篠栗線の線路を挟んで西側に位置している。出入口は 3ヶ所あり、公園の南、東、北にそれぞれ設けられている。南側にある出入口は、図 50 に示すように出入出来る場所は 2ヶ所に分けられ、それぞれの幅員は 81 cm と 77 cm である。車いすは何とか通れるが、厳しいといえる。また道路と段差が 10 cm あり、ここから



図 50 菰田西公園の南側出入口



図 51 菰田西公園の東側出入口



図 52 菰田西公園の北側出入口



図 53 菰田西公園の遊具



図 54 菰田西公園の広場



図 55 菰田西公園の便所

### 3-3-5 徳前公園

飯塚小学校近くにあるのが徳前公園である。平成 14 年の調査では、3ヶ所ある出入口すべてに段差があったが、平成 16 年の改修でこの内の 2ヶ所の段差が取り払われた。南側の出入口は図 56 のように、車止めが設置された一般用出入口と車いす用のスロープが設けられている。この出入口と道路との段差が 4 cm あり、スロープの部分と道路との間にすりつけ板の設置が望まれる。公園の東側には 2ヶ所の出入口がある。このうち南にある出入口は、図 57 のようにスロープになっており片側には手すりが付けられている。もう一方の東北にある出入口は、以前のままで改修されてなく段差はそのままである (図 58)。

この公園にはゲートボール場が設置されていたのだが、今回の改修で撤去され広場 (図 59) となった。広々とした場所はどのように利用されているのか今後の課題である。南西にはすべり台、ぶらんこ等の遊具 (図 60) が置かれ、その北には砂場がある。

図 61 に示すように便所はこれまでに述べた街区公園と同じであるが水洗式になっている。そして、手洗いの水は出るが、便所の外にある水飲み場の水は出ない。

### 3-3-6 片峰公園

調査対象地の西、国道 200 号線の近くにあるのが片峰公園である。この公園は谷底のような場所にあり、3ヶ所ある出入口はいずれも車いす利用者にとって困難な状況にある。すなわち



図 56 菰田西公園の南側出入口



図 57 菰田西公園の東南出入口



図 58 徳前公園の東北出入口



図 59 徳前公園の広場



図 60 徳前公園の遊具

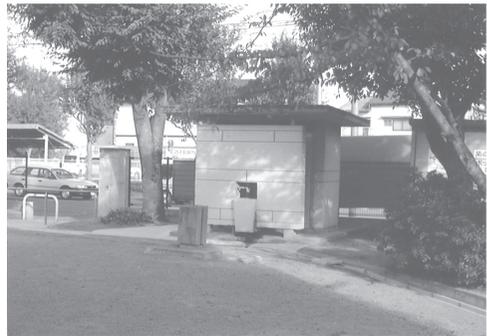


図 61 徳前公園の便所



図 62 片峰公園の東側出入口



図 63 片峰公園の東側出入口見返し

東側にある出入口（図 62）は急勾配の斜路（図 63）を上り下りしなければならず、南西にある出入口（図 64）と北西にある出入口（図 65）は階段を上り下りしなければならない。

図 66 に示す遊具は南端と西端に配置されており、残りのスペースは広場となっている。

この公園の便所は汲取り式であり、図 67 に示すように、これまでの街区公園の便所と同じ外観と便房の構成である。

### 3-3-7 街区公園への聞き取り調査

中田公園と菰田西公園の近くには、桜ヶ丘幼稚園と市立菰田保育所があり、芳雄公園の近くに



図 64 片峰公園の南西出入口



図 65 片峰公園の北西出入口



図 66 片峰公園の遊具



図 67 片峰公園の便所

は明星保育園がある。それぞれの幼稚園や保育所が近くの街区公園をどれほど利用しているかを聞き取り調査した。

桜ヶ丘幼稚園では菰田西公園を幼稚園の運動会の練習に使っている。しかし、運動会は菰田小学校を借りて行う。普段はあまり利用しない。雑草が多くて、中田公園は大人が膝まで雑草に埋まるので園児を遊ばせることは出来ないということである。

市立菰田保育園では運動会の練習と運動会に菰田西公園を利用する。雑草が多く父兄の協力を得て雑草の除去作業を行っているそうである。

明星保育園ではあまり芳雄公園を利用しない。運動会の練習に少し利用するくらい。住宅地なので音が騒音にならないかと思いあまり利用しないそうである。この近くの町内会では結構この公園を利用しているようだと言っていた。

公園の維持管理が大変である。図 62、図 63 の出入口に置かれた枯草の山をみて分るように、平成 17 年の調査では飯塚市が草取りを行った直後に調査したため公園内はきれいになっていたが、平成 14 年の調査では雑草が伸び放題の時に調査した。図 68 と図 69 はこのときの写真であり、公園内に茂る雑草の凄さを知ることが出来る。

飯塚市では年 2 回草取りを行うという。この回数を増やして欲しいとの声も聞かれた。町内会での草取りやボランティア活動としての公園の清掃も行われているようだが、現在のところ筆

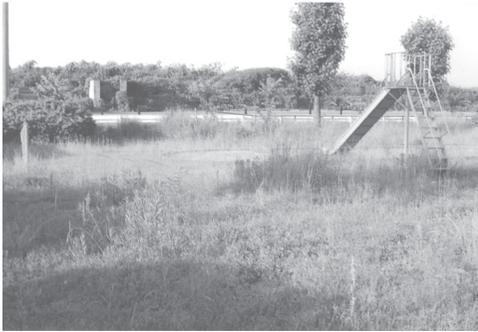


図 68 平成 14 年 5 月の中田公園



図 69 平成 14 年 5 月の菰田西公園

者はその実態を正確には把握していない。

### 3-4 緑道

調査対象地にある飯塚緑道は、国道 201 号線が新飯塚橋を西に渡りきったところから南に向かって伸びる長さ 660 m、幅員 9～13 m、面積 0.8 ha の細長い公園である。この飯塚緑道の実態と問題点については「飯塚市人にやさしいまちづくり整備基本計画」<sup>9)</sup> に詳しいが、本報ではそこに述べられていなかった問題点やその後の実態について報告する。

飯塚緑道は南北に長いので、国道 211 号線によって 2ヶ所（図 70、図 71）、県道新飯塚停車場線によって 1ヶ所が分断されている。車の交通量が多いこれらの道路を渡ることは危険が多い。横断歩道が直接付いていない部分もある。また、国道や県道ではないが、幾筋もの道路によっても分断されている（図 72、図 73）。ここにも車は通っている。車いす利用者や視覚障害者にとっては利用しづらい緑道であろう。現在のところ現実的な解決策は見出せないが、緑道を生かして活用を考えると考慮しなければならない点となるであろう。

平成 14 年以降、便所の改修がなされている。図 74 の便所は、以前は和風の一般用便所しかなかったが、現在女性用は和風と洋風の便房に、男性用は小便器と洋風の便房に改修されている。どの便房にも手すりが設置され、洋風便所は車いす利用者にも利用出来るように配慮されている。そして、図 75 の便所は、多目的便所としての設備を整えている。



図 70 飯塚緑道と国道 211 号



図 71 飯塚緑道と国道 211 号



図 72 飯塚緑道と道路による分断



図 73 飯塚緑道と道路による分断



図 74 飯塚緑道の便所



図 75 飯塚緑道の多目的便所

#### 4 まとめ

福岡県飯塚市の市街地の中で、中心的町並みを形成している 2 km<sup>2</sup>の地域の公園を調査した結果、次のような知見を得た。

- 1) 地区公園の勝盛公園の出入口については、車いす使用者が利用出来る出入口がある。
- 2) 勝盛公園の勝盛ため池の周囲には、段差の改善や舗装の整備を数ヶ所すれば、車いすでも回遊できる方途がある。
- 3) 街区公園の出入口は、それぞれ 1ヶ所以上の出入口に車いす使用者が利用出来る十分な幅の場所がある。
- 4) 街区公園は、遊具のある場所と運動できるような広場とから形成されている。広場は防災上の目的もあると考えられる。
- 5) 飯塚緑道は、国道と県道、その他の道路によって分断されている。
- 6) 飯塚緑道の便所のうち、洋風便器、手すり付きに改善されたものがあり、ここは車いす利用者も使用可能である。
- 7) 調査対象地の公園では、概して視覚障害者への配慮は認められなかった。

## 謝辞

本調査にご協力下さいました飯塚市役所都市計画課の皆様、本学学生井上恵さん、祝迫美奈さんに厚くお礼申し上げます。

## 註

- 1) 坂本久子：街地の中にみる福祉の住環境への基礎的研究（その1）—調査対象地の概要一、近畿大学九州短期大学研究紀要第32号、1-9、2002
- 2) 坂本久子：市街地の中にみる福祉の住環境への基礎的研究（その2）—歩道と立体横断歩道施設の実態一、近畿大学九州短期大学研究紀要第34号、1-21、2004
- 3) [註1] 前掲書、2-6
- 4) 福岡県福祉のまちづくり条例 平成10年福岡県条例第4号、24、1998
- 5) 飯塚市役所都市計画課談（平成17年10月聞き取り）
- 6) [註4] 前掲書、26
- 7) 飯塚市役所都市計画課談（平成14年5月聞き取り）
- 8) 東京商工会議所：福祉住環境コーディネーター検3級定公式テキスト、101、2004
- 9) 飯塚市役所 社会福祉課 障害福祉課：飯塚市人にやさしいまちづくり整備計画、43-45、2002

\*本研究の写真は、図68、図69を除いて、すべて平成17年10月に撮影したものである。